

①直言

心霊明、16宮組

4月分
オピニ

一ひにー
②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲

自
の
ち
た
こ

お歳暮再考

松本



また今年もお歳暮の季節になった。好むと好まざるとに係わらず時は流れていく。生々流転の姿である。「年年歳歳、花相似たり、歳歳年年、人同ジカラス」といさゝか哲學的に人生を問うている余裕もなく、かえって心が何かにせき立てられて苛立つてくるような時期に、私たちはこうして毎年またされる。デパートや商店で「贈答品コーナー」が設けられ、早身とクリスマスマソリーが信仰とは無関係に飾られたりすると、人生を振り返るようには「この関所を無事に越えなくては……」という乱分にさせられるのが常である。お歳暮がやってくる。古来、世話になった